

ランピースキン病について

県央家畜保健衛生所

○ランピースキン病って？

- ・ランピースキン病ウイルスにより皮膚(スキン)が凹凸(ランピー)する疾病
- ・皮膚病変の回復には数か月～1～2年かかる場合もある。
- ・熱発、跛行、泌乳量減少等の症状を示す。
- ・令和6年11月6日に国内で初発生して以降、同年12月26日までに**福岡県・熊本県で22農場、230頭の発症を確認**
- ・接触伝播の他、**サシバエ・蚊・ダニがウイルスを媒介**

○「ランピースキン病防疫対策要領」の改正（R7. 7. 28付）

- ・家伝法第62条に基づき、遺伝子検査で陽性となった牛は、**移動制限、殺処分命令等の対象**となる。

○予防と対策は？

- ①毎日の健康観察：感染初期は、発熱・食欲不振・跛行等。
- ②吸血昆虫の駆除：殺虫剤散布や粘着シート設置 **裏面もチェック**👉
- ③清掃・消毒：エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石けん等多くの消毒剤が有効。



（農水省HPから引用）

※疑わしい症状を確認したら、すぐに家畜保健衛生所へ連絡しましょう！

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279

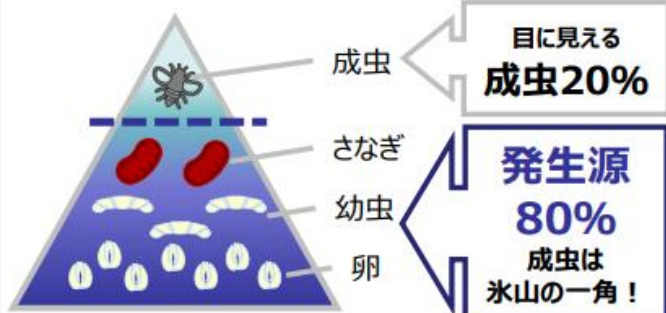
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825

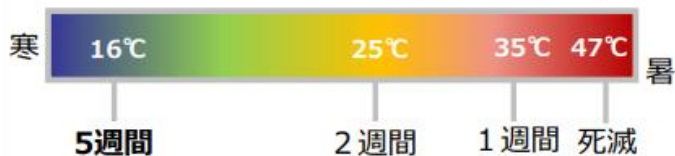
《ウイルスを媒介するサシバエ対策》

真夏の暑い時期を過ぎた秋～成虫が増え始めます！

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



温度とサシバエが卵から成虫になるまでの
発育日数の関係



冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

1. 幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！

牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！

つなぎ牛舎は
バークリーナーへ散布！

2. 成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！



地面や床から2 mは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！

殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！

殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

※下草刈りや防草シートの設置

サシバエが日中休息する牛舎周辺の下草を刈ろう。防草シート設置も効果的。

3. 対策は地域ぐるみで！関係業者も一緒に！